



## アコースティック ギター・セミナー

定価 各 ¥ 3,500 (税込み)

各VHS・Hi-Fi・STEREO・45min

あのパープル、ツェッペリン、ビートルズの名曲が、簡単にカッコよくアコースティック・ギターで弾けちゃうビデオがついに完成。キーボーディストにもオススメのビデオです！

絶賛発売中



インストラクター：森園勝敏

### とにかく弾きたい！

#### Vol.1 ディープ・パープル

- BLACK NIGHT
- SMOKE ON THE WATER
- HIGHWAY STAR

### とにかく弾きたい！

#### Vol.2 レッド・ツェッペリン

- WHOLE LOTTA LOVE
- GOING TO CALIFORNIA
- GOOD TIMES BAD TIMES

### とにかく弾きたい！

#### Vol.3 ビートルズ

- BIRTHDAY
- BLACKBIRD
- BACK IN THE U.S.S.R.

■全国の楽器店、レコード・ショップ、書店にてお求めください。(お店にない場合はご注文ください。)通販で直接お申し込みの場合は、ビデオ代に700円(何本でも)を添え郵便振替、現金書留のいずれかで立東社までお送りください。  
■郵便振替口座番号：東京6-66534 (本誌はさみ込みの赤い専用申込書をご利用ください。)

発売元：(株)ポリスター／販売元：(株)立東社

### ●東京のクラブ状況にモノ申す！

読者諸氏の中には、テクノのかかるクラブに一度も行ったことがない人も多いだろう。別にそれが悪いとは言いません。テクノ・クリエイターにも2種類あって、僕や卓球のように、ほとんど毎週行ってるダンス・クレイジーもいれば、内向的な機材フェチもいるわけで…。実は最近クラブで踊ることによって考えを改めさせられたことがあるので、報告までに。その前にいま東京のクラブがどういうことになっているのか少し説明しよう(ヒップ・ホップやレゲエはわからん)。

まず、いくつかのイベント・オーガナイザー集団が存在する。それらが毎週末、企画を変え場を変えDJを変え、独自の展開で客を集めているのだが、Tシャツとジーンズといったラフな格好で踊り狂う、国籍年齢性別不問の人々の群れはまったく感動的だ。こざいなエコ・ギャルが“私ってスノッブでしょ?”と言わんばかりに、アシッド・ジャズでつまらなそうに揺れ動いているのとは大違いである。

本題に入ろう。…現在、どのクラブに行ってもメインでプレイされているのはトランスものである。ローランドTB-303の特長である幅広いフリケンシーを生かしたレゾナンス・サウンドをビヨビヨと反復させることによって生じる禁欲的ながら暴力的な上モノ、TR-909による単調ながらも高揚感のあるリズム。代表的な存在としては、ハートハウス・レーベルの大将スヴェン・ヴァスや「TBIREUSUCITATION (TB-303の生き返り!)」というタイトルのアルバムまで出すほど303好きであるハード・フロアなどが挙げられる。現在主流のトランスのほとんどがTB-303やムーンおよび909で組み立てられており、“やったもん勝ち”的フレーズ・サンプリングなどという手法はあまり見られない。つまりアナログ・シンセのエデットにハマった音ばかりが前面に押し出されて、サンプラーはかなり後ろのほうに引っこめられてしまったのだ。

ちょっと待て、それでいいのか! サンプリングの発想は、アンディ・ウォーホールやリキテンシュタインにも通じるポップ・アートではなかったのか! MIDI大革命以降、最大の文化遺産ではなかったのか! 使用してよい防具909、303、おまえらのやっていることは種目

別格闘技か! だいいちリズムがつまらん、 Detroit・テクノを見習え!!! おっと、感情的になってしまった。これが言いたかったことではないのだ。もすこし、ちゃんと説明しよう。

最初は僕もトランスに対して、そんな疑問を抱きながらフロアで踊っていたのだが、気がつくとも5~6時間は軽くノン・ストップで踊らせてしまっている自分を発見。このトランスもののジワジワと押し寄せる気持ちよさはいったいなんだろう。リズムがとぎれ、ディレイもリバーブも何もしないのムキダシのTB-303を大音量でブチかまされた瞬間の、この衝動! DJ氏のテクニックによるところも大きいのだろうが、トランスものには“ひと晩で1曲”と思わせるほどの接続したグルーブとマジックがある。これでいいのだ。そう思えた瞬間に僕は悟った。何もサンプリングだけにこだわる必要はない。ネタとアイデアの競い合いの時代は、もう終わったのだ。そもそもテクノは、民族音楽だろうがジャズだろうがノイズ・インダストリアルだろうが、なんでも飲みこめるキャパシティを最初から持っていたはずなのだ。トランスはトランスでよい。もうバッチリである。1曲一念であればよい。909と303だけだろうが、ティム・シムノンがビョークに書きおろした曲(これがまたGOOD!)のように生のストリングスを導入しようがテクノはテクノ、“意志”の音楽なはずだ。

その理論を推し進めると、QY10ひとつだけで作った曲だろうがリズム・マシン1台で作った曲だろうがOK! ということになるが、そのとおり。ということで、読者諸氏の“1曲一念”の力作をお待ちします! たぶん1曲中で、あれもやろうこれもやろうとしないほうがいいと思う。それよりも、曲の中でいちばん何がやりたいのかというところを突き詰めて、自分だけのグルーブを発見してほしい(これは僕が自分に言い聞かせてることでもあるのだ)。

壁が崩れたドイツからは、さまざまなすばらしい音源が続々出ています。世界中のオンラインをパニックに陥れる天才ハッカーの多くは、経済的に貧窮な東欧の若者だそうです。ハード王国、ライジング・サンに国に住む若者諸君、負けていいのか? さっそく機材のスイッチを入れて、脳波に忠実に音を出してみろ! その日の天気や精神状態、喜怒哀楽が反映されているながらクールなやつを待っています(なんじゃそりゃ)。感想やアドバイスなどはなるべく誌面にて述べたいと思っています。それじゃまた。快作&傑作、待つ!

★みなさんからのデモ・テープが続々届いて、CMJKも喜んでます。次号かその次あたりでなんらかの特集を組もうと思っているので、お楽しみに。まだまだ受けつけていますので、CMJKに聴いてほしいデモ・テープやファンレター、このページへの意見・感想など、どんどん送ってください。  
あて先→〒160 東京都新宿区本地町7-4 ショセブンビル (株)立東社 KBS「GROOVE CONTROL」係